



▲雄島社長

事例に学ぶ

大手キャスターメーカー  
業界最後発からの挑戦と新たなビジョン

(株)ユーエイ

(株)ユーエイ(旧・株)ユーエイキャスター)は、1977年の設立以来、キャスター及び関連製品の開発製造販売を行い、設立から40余年で国内有数のキャスターメーカーに成長。現在、国内のシェア約25%を占める。

「弊社は国内生産にこだわり、お客様の要望にお応えするオーダーメイドのモノづくりを得意としています。これは大手キャスターメーカーの中では最後発であったことにも起因しており、他社のやりたがらない

小ロットのオーダーメイド品を数多く受注してきました。そのような中で培った多品種小ロットへの対応力がこそが弊社の強みと考えています」と話すのは雄島社長。

同社で生産されるキャスターの約70%はオーダーメイド品で、驚くべきはその内製率の高さにある。キャスターの用途によって金具や車輪の形状・素材は異なるが、その多岐にわたる部品の加工や組み立てから金型製作までも内製化しており、顧客の要望にワンストップでの対応を可能としている。

「多品種小ロットに見合った生産設備を導入することで体制を整えるのはもちろんですが、それらを扱うのは全て社員です。ハード(設備)を充実させると共に、それを扱うソフト(人材)もアップデートしてい

かなければなりません。弊社では部門別採算制度を導入しており、部門よりも細かい班単位で採算性を見ています。そのおかげで社員一人一人が経営者意識をもって日々の業務に従事してくれており、採算性を上げるためには何をすべきかを自主的に考えることで、人材育成にも役立っています」と手ごたえを語る。

人材育成の成果は、既存製品の改良だけでなくこれまでにないキャスターづくりにも貢献しているという。

「段差乗り越えキャスター」は労働力不足にある物流現場での活躍が期待されている。また、「IoTセンサキャスター」はキャスターの回転により自家発電し、これを位置検知システムと組み合わせることで、データ取得が可能となるもので、業界初の試みとしてIoTの普及と共に様々な用途が考えられている。

「国内市場は既に飽和状態にあります。更なる成長を遂げるには新分野への展開と海外進出がカギとなるでしょう。世界にはまだまだ良いものを知らない国がたくさんあります。

それらの国に対してメイドインジャパンの品質を提供することで世界一のキャスターメーカーを目指します」と雄島社長は抱負を語った。



▲IoT センサキャスター

(株)ユーエイ  
代表取締役社長 雄島 耕太氏  
所在地 東大阪市本庄西 1-8-39  
電話 06-6747-5607  
従業員 356人